

パブリックコメント手続の実施結果について

1 案件名

平塚市産業振興計画 2024（素案）

2 案件の概要

我が国を取り巻く社会情勢は大きく変化し、また、変化するスピードも加速しています。平塚市産業振興計画 2024 は、こうした状況の中で、持続的な経済成長を図るため、新時代を見据えた新たな産業振興の方向性を示すべく策定するものです。なお、計画期間は 2019 年度から 2024 年度までの 6 年間です。

3 募集概要

(1) 意見の募集期間

平成 30 年 8 月 3 日（金）～平成 30 年 9 月 3 日（月）

(2) 意見の提出方法

持参、郵送、FAX、電子メール

4 実施結果

(1) 提出意見数

個人から	1	人	2	件
団体から	0	団体	0	件
合計	1		2	件

(2) 意見内訳

項目	件数 (件)
序章 3 各産業の現状と課題 (3) 農業の現状と課題	1
第 1 章 1 目指すべき将来像	1
合計	2

(3) 意見への対応区分

項目	説明	件数 (件)
ア：反映	意見を受けて計画案等を修正したもの	1
イ：反映済み	既に計画案等に記載されているもの又は既に対応しているもの	0
ウ：参考	取組を推進する上で参考とするもの	1
エ：その他	意見募集の範囲と異なるもの、反映が困難なもの、質問など	0
合計		2

5 意見対応表

番号	項目	市民意見の概要	市の考え方	対応区分
1	序章 3 各産業の現状と課題 (3)農業の現状と課題	<p>農業の「30～39歳」の年齢階層の減少理由</p> <p>P29の「(3)農業の現状と課題」で、「販売農家の農業就業人口は、1,891人と前回と比較して144人(7.1%)減少しており、「30～39歳」の年齢階層の減少が大きい状況です。」との記述がありますが、「30～39歳」の年齢階層の減少が大きい理由が分かりかねました。この理由を教えてくださいませんか。</p>	<p>前回調査時の5年前(2010年)に20歳代であった若者が、30歳代(2015年)になって離農したことが伺えます。理由としては、若者の就農定着が進んでいないことが挙げられます。また、御意見を踏まえ、年齢階層ごとの農業就業人口と減少率がわかるように、グラフ37を修正しました。</p>	反映
2	第1章 1 目指すべき将来像	<p>目指すべき将来像</p> <p>P38の「目指すべき将来像」で、「”つながり”から新たな価値を創造するひらつか」となっており、「つながり」では「国境を越えたつながり」が案内されています。しかし、「7つの基本方針」の「施策1-(3)地域資源や経営資源を活用した産業間連携の推進」にあるように、新たな価値の創造のためには産業間連携も依然として重要であると考えます。将来像の「つながり」に産業間連携も含めるべきではないかと考えましたが、いかがでしょうか？</p>	<p>本市の産業活性化を図るためには、各産業の枠を超え、事業者間の連携やつながりにより、地域資源などを活用した商品開発や事業の展開が引き続き必要であると考えています。そのため、目指すべき将来像にある”つながり”には、産業間連携も含まれています。</p>	参考

<お問い合わせ先>

平塚市産業振興部産業振興課

電話：0463-21-9758

電子メール：sangyo-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp